

## 吸収合併に係る事前開示書類

(会社法第 794 条第 1 項及び会社法施行規則第 191 条に基づく書類)

2023 年 11 月 27 日

東京都品川区西品川一丁目 1 番 1 号  
大崎ガーデンタワー  
株式会社 LIXIL  
取締役 代表執行役社長 兼 CEO 瀬戸 欣哉

当社は、2023 年 11 月 16 日付で株式会社 LIXIL ウィンドウプロダクツ（本店所在地：東京都品川区西品川一丁目 1 番 1 号大崎ガーデンタワー。以下「LIXIL ウィンドウプロダクツ」といいます。）との間で締結した吸収合併契約に基づき、2024 年 3 月 1 日を効力発生日として、当社を吸収合併存続会社、LIXIL ウィンドウプロダクツを吸収合併消滅会社とする吸収合併（以下「本合併」といいます。）を行うこととしました。本合併に関し、会社法第 794 条第 1 項及び会社法施行規則第 191 条に定める事項は以下のとおりです。

1. 吸収合併契約書の内容  
別紙 1 のとおりです。
2. 合併対価がないことの相当性に関する事項  
当社は本合併に際して LIXIL ウィンドウプロダクツの株主に対して当社の株式その他の金銭等の交付を行いませんが、LIXIL ウィンドウプロダクツは当社の完全子会社であることから、かかる取扱いは相当と判断しております。
3. 吸収合併消滅会社の新株予約権に関する事項  
該当事項はありません。
4. 吸収合併消滅会社の計算書類等に関する事項
  - (1) 吸収合併消滅会社の最終事業年度に係る計算書類等の内容  
別紙 2 のとおりです。
  - (2) 吸収合併消滅会社において最終事業年度の末日後に生じた重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象の内容  
該当事項はありません。

5. 吸収合併存続会社において最終事業年度の末日後に生じた重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象の内容
- 完全子会社である株式会社 LIXIL リアルティによる資産流動化事業の譲渡  
当社の完全子会社である株式会社 LIXIL リアルティは、2023 年 9 月 1 日付で、資産流動化事業（不動産買取再販事業）をトーセイ株式会社の子会社であるトーセイ・アール株式会社を承継会社とする吸収分割を通じて譲渡しました。
  - 完全子会社であるソニテック株式会社の全株式の譲渡  
当社は、2023 年 12 月 1 日付（予定）で、保有するソニテック株式会社の発行済株式の全てを、日本みらいキャピタル株式会社が投資に関するサポート業務を提供する NMC 四号投資事業有限責任組合が全額を出資する特別目的会社である SKY ホールディングス株式会社に譲渡します。
6. 吸収合併存続会社の債務の履行の見込みに関する事項  
本合併後の当会社の資産の額は負債の額を十分に上回ることが見込まれています。また、本合併後に当会社の債務の履行に支障を及ぼすような事象は、現在のところ予想されていません。  
したがって、本合併の効力発生日以後における当会社の負担する債務について、履行の見込みがあると判断いたします。

以 上

別紙 1 吸収合併契約書

(次頁以降に添付)



## 吸収合併契約書

株式会社 LIXIL（以下「甲」という。）及び株式会社 LIXIL ウィンドウプロダクツ（以下「乙」という。）は、2023 年 11 月 16 日、甲乙間の合併に関して、次のとおり吸収合併契約（以下「本契約」という。）を締結する。

### 第 1 条（合併の方法）

甲及び乙は、本契約の定めるところに従い、甲を吸収合併存続会社、乙を吸収合併消滅会社として、吸収合併（以下「本件合併」という。）をする。

### 第 2 条（合併当事会社の商号及び住所）

本件合併における当事会社の商号及び住所は、それぞれ次のとおりである。

- 甲 吸収合併存続会社  
商号：株式会社 LIXIL  
住所：東京都品川区西品川 1 丁目 1 番 1 号大崎ガーデンタワー
- 乙 吸収合併消滅会社  
商号：株式会社 LIXIL ウィンドウプロダクツ  
住所：東京都品川区西品川 1 丁目 1 番 1 号大崎ガーデンタワー

### 第 3 条（合併の効力発生日）

本件合併がその効力を生ずる日（以下「効力発生日」という。）は、2024 年 3 月 1 日とする。ただし、本件合併のいずれかの手続の進行上の必要性その他の事由により必要があるときは、甲及び乙は、協議の上、これを変更することができる。

### 第 4 条（合併に際して交付する株式等）

甲は、本件合併に際して、乙の株主に対して、株式その他の対価の交付は行わない。

### 第 5 条（資本金及び準備金の額に関する事項）

本件合併により甲の資本金及び準備金は増加しない。

### 第 6 条（株主総会における承認）

甲は、会社法第 796 条第 2 項の規定に基づく簡易合併手続きにより、また、乙は、会社法第 784 条第 1 項に基づく略式合併手続きにより、株主総会の承認決議を経ずに本件合併を行うものとする。ただし、本件合併の手続の進行上の必要性その他の事由により必要があるときは、甲及び乙は、協議の上、これを変更することができる。

### 第 7 条（本契約の解除等）

本契約の締結後効力発生日に至るまでの間に、不可抗力その他の事由により、甲又は乙の財産又は経営状態に重大な変動が生じたとき、その他甲及び乙が、本契約を変更又は解除することが互

いに有益であると合意したときは、甲及び乙は、協議の上、本契約の条件を変更し、又は本契約を解除することができる。

### 第 8 条（本契約の規定以外の事項）

本契約に定めるもののほか、本件合併に関し必要な事項については、甲及び乙は、協議の上、これを定める。

本契約の成立の証として、本契約書 1 通を作成し、甲及び乙の代表者が記名押印した上、甲が原本 1 通を保有し、乙はその写しを保有する。

2023 年 11 月 16 日

甲：  
東京都品川区西品川 1 丁目 1 番 1 号大崎ガーデンタワー  
株式会社 LIXIL  
取締役 代表執行役社長 兼 CEO 瀬戸 欣哉



乙：  
東京都品川区西品川 1 丁目 1 番 1 号大崎ガーデンタワー  
株式会社 LIXIL ウィンドウプロダクツ  
代表取締役社長 上田 陽敏



別紙 2 LIXIL ウィンドウプロダクツの最終事業年度に係る計算書類等（事業報告、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表、監査報告）の内容

（次頁以降に添付）

## 第13期事業年度

〔 自 令和 4年4月 1日  
至 令和 5年3月31日 〕

## 事業報告

株式会社LIXILウィンドウプロダクツ

# 事業報告

(令和 4年4月1日 から 令和5年3月31日)

## 1 会社の現況に関する事項

### (1) 事業の経過および成果

新型コロナウイルスによる活動自粛が続く中、国策の住宅ローン控除が期間延長されるものの資材高騰による新築住宅価格の上昇により、国内住宅着工（持家＋分譲戸建）においては期初から前年を下回り、第2四半期以降は更に大きく下回る推移となりました。

L I X I Lにおいては販売先の見直し等の拡販活動を推進したものの、サッシシェアは前年を下回る結果となり、当社が取扱う完成品の出荷数量も前年を下回る実績となりました。

一方、パートナー様における高齢化や人手不足の環境から、完成品出荷のニーズは高い水準で維持されている経営環境下にもあります。

当社においても、人手不足と物価高騰による派遣労働者の賃金上昇と出荷量減少に伴う操業度悪化に加えて、L I X I L横浜工場閉鎖に伴う拠点移設コスト増加等の経営におけるマイナス要因を受けましたが、新型コロナウイルスの感染予防を図りながら各拠点と進めてきた生産性向上活動により固定費を削減しながらも供給能力を維持し、コスト悪化の抑制を進めてきました。

この結果、当期売上高は1,586,717千円(前期比87.0%)、営業利益は156,282千円(同106.2%)、経常利益は156,755千円(同106.9%)、当期純利益は98,986千円(同105.7%)となりました。

### (2) 設備投資等の状況

当期中において実施しました設備投資の総額は43,687千円で、その主なものは次のとおりであります。

- ・引違いライン製品パレット積載装置 4,900千円 (久居)
- ・サーモスビス段取り装置 4,821千円 (有明)

### (3) 資金調達の状況

該当事項はありません。

### (4) 対処すべき課題

国内住宅着工の減少に伴いサッシ市況が縮小する中、来期の新たな国策である先進的窓リノベ事業への補助金交付を加味しても、来期の完成品の出荷数量は当期を下回る事を想定しています。また、物価高騰や新築住宅価格の上昇に伴う買い控えや、流通店の仕入れ価格抑制を目的とした完成品供給ニーズの低下による出荷量減少も想定されます。

わが社におきましては、今後の人手不足・派遣労働者の賃金上昇を解消すべく組立工程自動化を推進するとともに、完成品需要に応じた拠点の最適化を図り、安定して完成品を供給できる体制整備に努め、パートナー様のニーズに応じて参ります。

株主の皆様におかれましては、当社の経営に深いご理解をいただき、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

### (5) 財産および損益の状況の推移

区 分	平成31年度 第10期	令和2年度 第11期	令和3年度 第12期	令和4年度 (当期) 第13期
売上高 (千円)	24,516,398	21,496,734	1,824,530	1,586,717
経常利益 (千円)	169,743	151,457	146,681	156,755
当期純利益 (千円)	115,069	101,985	93,645	98,986
1株当たり当期純利益 (円)	115,069	101,985	93,645	98,986
総資産 (千円)	2,884,759	2,832,209	1,107,885	1,167,177
純資産 (千円)	658,390	760,376	854,021	953,007
1株当たり純資産 (円)	658,390	760,376	854,021	953,007

(6)重要な親会社および子会社の状況

① 親会社との関係

当社の親会社は株式会社L I X I Lで、同社は当社の株式を1000株（出資比率100%）所有しております。

② 親会社との間の取引に関する事項

当社と両社の営業上の取引は、窓製品の生産請負及び加工賃売上となります。  
また、営業上の取引のほか、同社から役員の派遣、設備等の貸与、技術の供与、従業員の出向を受けております。

③ 重要な子会社の状況

該当事項はありません。

(7)主要な事業内容（令和5年3月31日現在）

当社は、サッシとガラスを一体とした窓製品およびドアの組立加工を営んでおります。

(8)主要な営業所および工場（令和5年3月31日現在）

名 称	所 在 地
本社	東京都品川区
関西完成品センター	大阪府大阪市住之江区

(9)使用人の状況（令和5年3月31日現在）

使用人数	前事業年度末比増減	平均年齢	平均勤続年数
16 名	+5 名	47.9 歳	3.7 年

(10)主要な借入先（令和5年3月31日現在）

該当事項はありません。

2 会社の株式に関する事項（令和5年3月31日現在）

(1)発行可能株式総数 4,000 株

(2)発行済株式の総数 1,000 株

(3)株主数 1 名

(4)大株主

株 主 名	当社への出資状況	
	持 株 数	出 資 比 率
株式会社L I X I L	1,000 株	100 %



### 3 会社役員に関する事項

#### (1) 取締役および監査役の状況（令和5年3月31日現在）

氏名	地位および担当	重要な兼職の状況
上田 陽敏	代表取締役	(株) L I X I L サッシ・ドアトータルサービス部長
田村 光宏	取締役	(株) L I X I L 理事 サッシ・ドア事業部長
橋本 雅俊	取締役	(株) L I X I L サッシSBU長
大宮 知己	監査役	(株) L I X I L 専任監査役室
安藤 伸介	取締役	令和4年12月28日 退任いたしました
深川 祐一	取締役	令和4年12月28日 退任いたしました
今田 具徳	監査役	令和4年12月28日 退任いたしました

- (注) 1. 取締役 小林 智 氏は、令和5年4月1日就任いたしました。  
2. 取締役 田村 光宏 氏は、令和5年4月1日退任いたしました。

#### (2) 当事業年度に係る取締役および監査役の報酬等の額

区分	人数	報酬等の額	摘要
	名	千円	
取締役	5	1,464	
監査役	2	—	
合計	7	—	

- ~~~~~  
(注) 本事業報告中の記載金額および株式数は、表示単位未満を切り捨て、比率その他については四捨五入により表示しております。

# 第13期 計算書類

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日

株式会社 LIXILウィンドウプロダクツ

東京都品川区西品川1-1-1 大崎ガーデンタワー

貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位 円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	997,706,123	流動負債	214,169,163
現金及び預金	56,537	未払金	34,467,748
売掛金	136,607,402	未払費用	130,063,518
貯蔵品	7,165,062	未払法人税等	29,273,000
短期貸付金	836,626,734	未払事業所税	2,489,900
未収金	17,250,388	未払消費税等	7,566,953
		預り金	40,596
固定資産	169,470,969	短期リース債務	602,448
		賞与引当金	9,665,000
有形固定資産	169,353,229		
建物	2,770,180	負債合計	214,169,163
機械及び装置	156,916,176		
車両運搬具	5,857,955	(純資産の部)	
工具器具備品	3,261,238	株主資本	953,007,929
有形リース資産	547,680	資本金	50,000,000
無形固定資産	117,740	利益剰余金	903,007,929
ソフトウェア	117,740	その他利益剰余金	903,007,929
		繰越利益剰余金	903,007,929
資産合計	1,167,177,092	純資産合計	953,007,929
		負債・純資産合計	1,167,177,092

**損益計算書**

(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

(単位 円)

科 目	金 額	
売上高		1,586,717,148
売上原価		1,363,176,537
売上総利益		223,540,611
販売費及び一般管理費		67,258,489
営業利益		156,282,122
営業外収益		
受取利息	15,340	
雑収入	457,800	473,140
経常利益		156,755,262
特別損失		
固定資産除却損	3,629,737	3,629,737
税引前当期純利益		153,125,525
法人税、住民税及び事業税	54,139,500	54,139,500
当期純利益		98,986,025

**株主資本等変動計算書**

(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

	株主資本				純資産 合計
	資本金	利益剰余金		株主資本 合計	
		その他 利益剰余金 繰越 利益剰余金	利益剰余金 合計		
当期期首残高	50,000,000	804,021,904	804,021,904	854,021,904	854,021,904
当期純利益		98,986,025	98,986,025	98,986,025	98,986,025
当期変動額合計		98,986,025	98,986,025	98,986,025	98,986,025
当期末残高	50,000,000	903,007,929	903,007,929	953,007,929	953,007,929

## 個別注記表

株式会社 L I X I L ウィンドウプロダクツ

### 1. 重要な会計方針に係る事項

#### 棚卸資産の評価基準及び評価方法

通常の販売目的で保有するたな卸資産

主として総平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）によっております。

#### 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しております。

無形固定資産

定額法を採用しております。

リース資産

所有権移転外ファイナンスリース取引に係る資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

#### 引当金の計上基準

賞与引当金

従業員に対する賞与等の支払に備えるため、主として支給見込額基準による見積額を計上しております。

#### その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

税抜き方式で行っております。

グループ通算制度の適用

グループ通算制度を適用しております。

#### 重要な収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下のとおりであります。当社は、製造請負を行っております。当該取引については、原則として顧客に製造した製品が着荷した時点で役務提供が完了し履行義務が充足されると判断しており、着荷時点において収益を計上しております。

### 2. 貸借対照表に関する注記

#### 有形固定資産の減価償却累計額

198,452,436 円

#### 関係会社に対する金銭債権・債務の金額

関係会社に対する短期金銭債権

139,554,284 円

関係会社に対する短期金銭債務

99,640,680 円

### 3. 損益計算書に関する注記

#### 関係会社との取引高

営業取引による取引高

売上高

1,586,717,148 円

関係会社との営業取引以外の取引による取引高

15,340 円

#### 4. 株主資本等変動計算書に関する注記

当該事業年度の末日における発行済株式の数  
普通株式

1,000 株

#### 5. 関連当事者との取引に関する注記

##### 1. 親会社及び法人主要株主等

種類	会社等の名称	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(円)	科目	期末残高(円)
親会社	(株)LIXIL	被所有 直接 100.0%	製品の販売	窓製品の販売および加工賃売上	1,586,717,148	売掛金	136,607,402

#### 6. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額

953,007.93 円

1株当たり当期純利益

98,986.03 円

## 監査報告書

私は、2022年4月1日から2023年3月31日までの第13期事業年度の取締役の職務執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査の方法及びその内容

私は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役および使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務および財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討するとともに、会計帳簿又はこれに関する資料を調査し、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書および個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

### 2. 監査の結果

#### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告およびその附属明細書は、法令および定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 計算書類およびその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2023年5月22日

株式会社 LIXIL ウィンドウプロダクツ

監査役 大宮 知己

